

# 飯 南

い  
い  
な  
ん

## 議 会 報

- 02 陳情
- 03 6月定例会 可決された主な議案  
平成27年度 一般会計補正予算
- 04 一般質問
- 09 討論・採決の結果
- 10 常任委員会報告  
議会全員協議会の議題
- 11 議会活動報告
- 12 明日を拓く

第42号  
平成27年7月17日





# 6月定例会終わる

6月9日から19日までの11日間の日程で開きました。

本定例会の主な議案は飯南町税条例の改正、平成26年度各会計の最終補正、平成27年度各会計の補正などです。

平成27年度各会計の補正は、職員手当、期末手当の支給率が下がったことによるものです。

一般会計では、マイナンバー制度システム整備費、大注連縄創作館玄関の注連縄修繕、県から文部科学省の「ICTを活用した教育推進自治体応援事業」に選定され、町内2校で実施することになったため、タブレット端末、サーバー、教材ソフトを導入するための予算などです。

陳情2件は、安全保障関連2法案を廃案にする意見書を、国に提出することを求めたものです。戦争ができる国になることに反対なので提出すべきだという意見が1人。近年、東アジアの情勢が不安定になっていく中で、個別的自衛権だけで日本国民を守ることが困難なので、集団的自衛権は必要という意見が1人。あとの4人は、国防は国の専権事項であり、慎重に協議する必要があるので、十分な時間を掛けて議論したい、という意見でした。

戦争により人命が失われる様なことはあってはならない、という思いは全員一緒ですが、国民を守る手段に対する考えがそれぞれあるので、時間を掛けて議論していきます。

## 「可決された主な議案」

### ■報告

飯南町一般会計繰越明許費の報告

### ■条例関係

飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定など2件

### ■承認

飯南町税条例等の一部を改正する条例及び

平成26年度飯南町一般会計補正予算(第12号)など6件

### ■補正予算

平成27年度飯南町一般会計補正予算(第1号)など5件

### ■諸議案

平成26年度飯南町本庁舎建築工事請負変更契約の締結

町道路線の廃止

## 「議員提出議案」

飯南町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

## 「陳情」

安全保障関連2法案(国際平和支援法案、平和安全法制整備法案)の廃案を求める意見書採択についての陳情

〔陳情者〕

松江市南田町1-12-13

新日本婦人の会島根県本部

会長 山崎 泰子

〔審査委員会〕

総務厚生常任委員会

〔審査結果〕

継続審査

〔安全保障法制関連法案について十分な審議を尽くすことを求める意見書の提出〕を求める陳情

〔陳情者〕

飯南町頓原2273番地1

はとほっぽの会

代表 石川 隆

〔審査委員会〕

総務厚生常任委員会

〔審査結果〕

継続審査



## 【平成27年度 一般会計補正予算】

公営住宅長寿命化事業・森林整備加速化・林業再生事業など 1億1214万円増額

| 各会計  |            | 補正予算額    | 予算総額      |
|------|------------|----------|-----------|
| 一般会計 |            | 1億1214万円 | 77億5264万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険事業   | △6万円     | 7億3069万円  |
|      | 介護保険サービス事業 | △50万円    | 2917万円    |
|      | 簡易水道事業     | △14万円    | 4億6711万円  |
|      | 下水道事業      | △7万円     | 4億0593万円  |



# 一般質問

6月定例会



門 眞一郎 議員

## Q 空き家対策特措法 どう生かす

空き家対策特別措置法は、活用することが困難な空き家などの所有者に対し、市町村が助言や指導、固定資産税の住宅用地特例から除外勧告、従わないときには代執行も可能となっている。

町内の平坦地や幹線国道沿線では、空き家や空き建築物があり、これらは適切な処置が必要だが、この法律の効力は期待できるのか。  
空き家が撤去された空き地は、今後管理が必要になってくるが、どう考えるのか。



本町は観光に力を入れるとされているが、国道54号沿線の環境整備が必要だ。  
この法律は、対策の対象地区を定めるとなっているが、住宅密集地のみならず、主要幹線沿線も対象とすべきと考えられるかどうか。

## A 適切に運用する

町長 山崎 英樹

この法律の制定により、町として条例を制定するまでもなく、空き家対策の対応が可能となる。

国の定める基本方針に即して、実態調査からはじめる必要がある。

空き地の管理は、地域の皆さんと共に、所有者に適切な管理を呼びかけていく。

主要な道路沿線を対象地区にすることはぜひ考えてみたい。空き家対策を含め景観形成に努める。



放置されたままの旧商業施設

## Q 観光をどう考える

町長は観光協会を設立し、着地型観光を目指すとしているが、観光施設や温泉旅館などを持たない本町は、歴史や文化などの語り部組織、体験農業などのグリーンツーリズムを手がけている団体を商品として勝負することになる。  
観光の拡大には、受け皿の創設が必要だが、どのような手段を考えているのか。また、

本町の観光をどのように思い描いているのか。

## A 数値目標を持って進める

町長 山崎 英樹

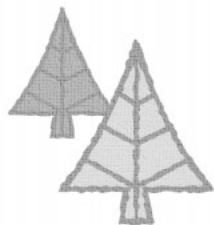
観光協会を設立した意義は、失われた経済効果を取り戻すことだ。

これにより誘客を促進し、観光客の滞在時間を延ばしていかなくてはならない。また、

観光振興を通じて、町民が地域への愛着を深めるということだ。

観光振興の基本は、町の魅力を観光客に自信を持つて伝える、温かく迎える、見た目の美しさを住む人の心というのが大事だと思う。

今後の進め方は、観光地としての基盤づくり、受け入れ態勢作り、そして情報発信だ。こうしたことを専門家の視点



点やノウハウを活用し、会員で組織するワーキンググループで議論をしながら、具体的な数値目標をもつて進めたい。

# 一般質問

6月定例会



高橋 英次 議員

## Q 教育行政を問う

この一年の間に、スクールバス購入の発注漏れ、学習支援館に対する疑問、見通しの不明な中での赤名小学校大規模改修事業の予算計上もあった。その都度、陳謝もあった。それにもかかわらず幾たびとなく繰り返されたことは残念に思う。町民の教育行政に対する期待を裏切る結果となった。

頑張って仕事をしている職員への士気にも悪影響を及ぼすのではないかと危惧する。教育行政のトップとして、どのように責任を感じているのか。



赤名小学校

## A 最終責任は教育長に

教育長 安部 亘

就任以来、児童生徒の安全・安心を守り、学力の向上、キャリア教育などの推進に努めてきた。そうした中で、ご指摘の事案は、いずれも私の管理責任下で起きており、最終責任は私にある。

このようなことが、町民の方々に不信感が生じているとすれば、私の不徳の致すところでありお詫びする。

今後は、学校・関係機関との連携を図り、職員一丸となつて本町の教育行政を進めていく。

## Q 優しさのある行政サービスを

役場等へ用事があって来たとき、職員の顔と名前が一致しないとの声が、特に高齢者の方から多く聞く。

役場庁舎内と各施設に、職務内容が分かる職員一覧表を写真つきで設置することを提案する。これにより窓口業務の改善と行政サービスの向上につながると思うがどうか。

## A 改善委員会で具体化

町長 山崎 英樹

町民の方へのしつかりとした接遇は大切なことだ。

本町では以前から若手職員を中心に改善委員会を設け、行政サービスの向上と仕事の効率化に向け努力してきた。

最大テーマは、挨拶と電話対応と考え、サービスの向上に努力している。

提案のあった職員一覧表の設置は、改善委員会で具体的に検討させたい。





# 一般質問

6月定例会



内藤 眞一議員

## 地方創生の施策を問う

### Q リースハウス団地整備事業の進め方は

リースハウス団地整備事業は、新規就農者・農業団体・農業法人を対象に、今後も町内に拡大したいと聞く。今回の利用者は県外の方だが、この有利な方法を教えてほしい。また、町の特産作り、就農者・雇用の拡大等、期待は大きい。現在の進捗状況を問う。



リースハウス予定地

### A 農産物の生産拡大と初期投資抑制

町長 山崎 英樹

農産物生産拡大と就農者の初期投資抑制を目的に、12棟のリースハウスを設置する。利用者は鹿児島県の農業法人福岡園芸が8棟、農業定住研修制度受講者1名が4棟で就農する。

県の補助申請に事業計画策定を急いだ関係もあり、2名を利用者とした。今後は事前の募集体制も整え、団地化と共に町内へ広げたい。今後の予定は、6月に用地造成発注、7月にパイプハウス・給水設備の発注、協定書の締結。秋から土作り、来春から栽培開始というスケジュールだ。

## 教育委員会の対応を問う



教育委員会

### A 責任の重さを再認識

教育長 安部 亘

大規模改修は本年度施工をめぐり、昨年建築計画書を国に提出した。夏休みを中心に工事を施行するため、全体の事業費は当初予算で計上した。国の方針で、耐震化対策最優先との通知があり、4月下旬に老朽化対策は採択不可との通知があった。引き続き強く国に要望し、早期完了を目指したい。

一連の教育委員会の事案について、教育行政すべての最終的な責任は私にある。責任の重大さを今一度再認識しながら、教育の推進に職責を果たしたい。

教育委員会の事業について、昨年のスクールバス購入手続きミス、学習支援館の法人化計画の変更、そしてこの度の赤名小学校大規模改修の計画挫折など、これら管理者としての責任は重い。どう考えているのか。

### Q 教育長の責任は

赤名小学校大規模改修は、財政協議により昨年設計し、今年度予算で約2億円を計上したが、採択が難しい状況と聞く。

教育委員会の事業について、昨年のスクールバス購入手続きミス、学習支援館の法人化計画の変更、そしてこの度の赤名小学校大規模改修の計画挫折など、これら管理者としての責任は重い。どう考えているのか。

# 一般質問

6月定例会



長島 正一 議員

### Q 1農場1担い手対策は

国は農地中間管理機構を創設した。10年間で全農地の8割を集積する目標を掲げているが、26年度の集積率は2割程度で、問題視されている。全国的にもあまり例のない飯南町1農場1担い手構想の基本的な考えとスケジュールを問う。

### A 町内組織の広域連携など

町長 山崎 英樹

集落営農など組織化の推進、広域連携、点在する農地の再編集積が取り組む基本と考える。

日本型直接支払制度が法制化され、安定的、かつ継続的な予算が確保されることとなった。追い風と期待する。

広域連携に支援策がもうけられており、5年後がひとつの目安だ。



### Q ナラシ対策の加入状況は

稲作経営安定対策ではナラシ対策(収入影響緩和対策)に加入している。国も加入率の向上を緊急の課題としている。認定農業者、集落営農組織であることが加入要件となっているが、全農家が国の制度の中に入り、恩恵を受けるような仕組みが必要だが、現在の状況は。

### A 20団体が加入

産業振興課長 大谷 哲也

ナラシ対策は、集落営農や認定農業者などが対象だ。20団体が加入しており、約8割の加入率。26年度は、円滑化への移行措置ということで、514戸の農家が交付を受けている。積立金により、10aあたり1万5987円か7992円の補填となっている。

### Q 産業支援センターの成果は

成果は

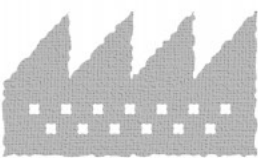
本町では産業支援センターを設置しているが、支援の内容と成果を問う。

### A 専門的な支援体制

町長 山崎 英樹

町内の起業支援のために、産業支援センターを設置した。関係機関の協力を得て、より専門的な支援を行う体制を整えた。

これまで5事業を支援し、売上増や雇用の確保につながっている。



※このほか特産品のブランド化についての質問がありました。



# 一般質問

6月定例会



伊藤 好晴 議員

### Q 安保関連法案への対応問う

国会で審議中の「安全保障関連法案」は、集団的自衛権を基礎にしており、アメリカ軍が武力紛争に参加した場合、「兵たん」後方支援」として参加することになる。「兵たん」は武力行使と一体であり、自動的に戦争に巻き込まれる。若者を二度と戦場へ送らないために、法案は廃案しかないと考えますがどう対応するの



護衛艦いずも

### A 徹底議論を望む

町長 山崎 英樹  
平和な世の中、戦争のない社会にしていかなければならない。議論中の法案にはいろいろな問題が含まれていると思う。国会で、しっかりと議論を尽くしてほしい。

### A 周知を進める

町長 山崎 英樹  
PRが不足しているので、広報などで順次周知していく。セキュリティにも取り組んでいく。行政・住民にメリットはあると思うので、制度に沿って進めていく。

### Q 高齢者等の見守り充実を

高齢者の見守り事業として、緊急通報システムが導入されているが、あくまで受動的なシステムになっている。相互監視になってはいけないが、もっと働きかけるシステムに再構築する必要があると思う。様々な人々や機関が主体となり、それぞれの役割分担の中で、連携して行われるものとする。

### A 検討に取り掛かる

町長 山崎 英樹  
本町では「生きがい村構想」としているが、具体的な検討はしていない。提案の通り、具体的な検討を進めていきたい。

05  
49  
3

### Q マイナンバー制度は廃止を

来年から運用されるマイナンバー制度を、国民は詳細に理解していない。利便性のみが強調されているが、日本年金機構のように情報漏洩が起これば大変な不利益を受けることになる。セキュリティに万全という言葉はないと思う。

テなどの医療情報にまで広げられようとしており、国による国民監視ともいえる。国民に不利益、不都合を招くものは廃止しないと考えるがどうか。

### A 廃止を

年金・雇用保険・医療保険・生活保護・児童手当・税金申告などに利用される上、預貯金等の金融資産・検診結果・カル

DEBATE

# 討論

## 飯南町税条例の一部を改正する条例

軽自動車税が燃費性能などにより、75%、50%、25%軽減される。一方、初期登録から14年が経過した軽自動車は20%増税される。また、2輪車や農耕用特殊車は1.5倍に増税される。

### 反対討論 伊藤 好晴議員

原動機付自転車と二輪車、トラクターなどの税金を引き上げることには反対する。

交通不便な本町では、町民の足となるバイク等は必需品だ。その増税は消費税とともに、二重の増税となる。

トラクターなどの増税は、米価が暴落した今、農家にさらに負担を強いるものだ。

### 賛成討論 門 眞一郎議員

この法律は、軽自動車のグリーン化に対する税の軽減ということが中心になっている。日本がCO2の排出量を20



20年までに1990年を基準として20パーセント削減する目標をクリアしていくために、この法律が作られた。

## 平成27年度一般会計補正予算(第1号)

マイナンバー制度導入のための準備にかかわる予算が含まれている。

### 反対討論 伊藤 好晴議員

マイナンバー制度は、セキュリティの問題がある。集積された個人情報からウイルスメールなどで外部に流出する恐れがある。様々な情報が一枚のカードに集約されると、国による国民の監視につながる。制度の詳細を国民に周知して、理解を得た上で制度を導入すべきだから反対だ。

### 賛成討論 門 眞一郎議員

制度に対する不安はある。しかし国は、サイバー攻撃に対しサイバー組織を立ち上げ、国が責任を持つて取り組んでいく。自らの情報を常時持ち歩くのだから、持たれた方がそれぞれ自覚し守っていかねばならない。適切な運用をしながら、行政の効率化を図っていただきたいので、賛成する。

全16議案のうち、反対があった議案の採決結果は次のとおりです。

### 【6月定例会】

| 件名                        | 結果 | 高橋英次 | 早樋徹雄 | 内藤眞一 | 熊谷兼樹 | 門 眞一郎 | 長島正一 | 永井 章 | 伊藤好晴 | 小野 覚 |
|---------------------------|----|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|
| 専決処分の承認 飯南町税条例等の一部を改正する条例 | 承認 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ●    | ○    |
| 平成27年度飯南町一般会計補正予算(第1号)    | 可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ●    | ○    |

○賛成議員 ●反対議員



## 教育経済 常任委員会

委員長 熊谷 兼樹



### 木質バイオマス推進事業（財源変更）

昨年建設された、飯南町バイオマスセンターで生産されるおが粉の水分含有量が多いことにより、その循環システムが機能していないため、おが粉を乾燥する装置を設置する。

より慎重に事業を推進するため、意見書を付す。

### その他

#### 赤名小学校大規模改修事業

事業の財源が不透明のまま当初予算計上する等、教育委員会に対する不信感が示された。

教育長の陳謝があり、今後、継続事業として位置付けられると考えており、国の動向を注視し要望を行い、早期改修を目指して努力すると説明があった。

### 審査意見

#### 木質バイオマス推進事業 おが粉乾燥機整備

この事業により導入されるおが粉乾燥機は、その効果と安全性に疑問がある。類似施設での導入事例調査、おが粉乾燥実証試験等により効果と安全性を確認し、慎重に進めることを求める。

### 平成27年度 一般会計補正予算(第1号)

#### ICT教育機材整備 703万円

これまでのICT教育の検証が不十分で、デメリットの部分について、きちんと児童・生徒・保護者に説明し相互理解を深める努力が必要だ。板書が学習の基本であることを明確にしておくべきだ等の意見があった。

これに対し、指導する先生の研修、支援員の確保など体制整備を図りながら、児童生徒の学力向上に役立つものにするとの回答を得た。

#### ヘルスケアビジネス推進事業 20万円

米作振興の新戦略として、島根大学農学部、医学部等と連携した取り組みにするべきだ等、積極的な意見や要望が出された。

これに対し、地域資源を活用し、多様な分野と連携した先進的なビジネスモデルとなりうるよう、今後設立される協議会でしっかり議論すると回答があった。

## 総務厚生 常任委員会

委員長 小野 寛



### 飯南町税条例の一部を改正

地方税法等の一部改正に伴い、飯南町税条例の一部を改正するもので、そのうち排出ガス性能及び燃費性能の優れた軽4輪車について、平成28年度分の税率を軽減する特別措置を設ける。

また、2輪車の税率が平成28年4月1日から約1.5倍に引き上げられる。さらに平成28年度分より、新規登録から14年を経過した軽四輪車などに約20%の加算税を導入。

### 飯南町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正

飯南病院及び来島診療所の医師が、要請により他の病院で診療を行う場合の規定を定めるもので、医師派遣手当の新設。

### 平成26年度 飯南町一般会計補正予算(第12号)

補正の多くは、事業実績による事業費の増額・減額。また、国、県の補助金の確定、過疎債など有利な特定財源への財源変更によるもの。

ふるさと応援寄付金は昨年度前半から申し込みが増大し、12月定例会で9千万円に補正したが、その後伸びが鈍り1千100万円減額する。

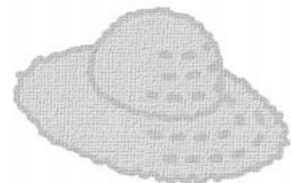
### 平成27年度 飯南町一般会計補正予算(第1号)

宝くじコミュニティ助成事業は、自治組織または市町村が実施主体となって行うコミュニティ活動が対象となり、備品購入等の助成率は10分の10、集会所建設助成は5分の3だ。

事業の性質上、団体を対象とするので、活用するには地域づくりが重要だ。一層の周知に努めるよう求めた。

## 議会活動報告 [4月～6月]

- |     |                |                               |
|-----|----------------|-------------------------------|
| 4   | 2日             | 議会広報編集委員会：一般質問要約作業            |
|     | 8日             | 議会広報編集委員会：紙面校正作業              |
|     | 13日            | 議会運営委員会                       |
| 5   | 18日            | 議会全員協議会                       |
|     | 5日             | 議会運営委員会：6月定例会の提出議案、日程外の協議     |
|     | 9日             | 6月定例議会：本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託 |
|     | 12日            | ：本会議、一般質問                     |
|     | 15日            | ：委員会審査                        |
|     | 16日            | ：委員会審査                        |
|     | 17日            | ：委員会審査                        |
|     | 18日            | ：議会全員協議会、委員会審査、予算特別委員会審査      |
|     | 19日            | 6月定例議会：本会議、委員長報告(質疑)、討論、採決    |
|     | 25日            | 議会広報編集委員会：一般質問要約作業            |
| 30日 | 議会広報編集委員会：編集作業 |                               |



## 議会全員協議会の議題

- |       |                          |       |                             |                      |
|-------|--------------------------|-------|-----------------------------|----------------------|
| 5月18日 | ①飯南町まち・ひと・しごと創生推進会議委員の報告 | 6月9日  | ①赤名小学校大規模改修の説明              | ④赤名小学校本年度改修工事の概要説明   |
|       | ②雲南市・飯南町ごみ処理方針の報告        |       | ⑤町政座談会における「地方創生に関する意見交換」の報告 |                      |
|       | ③公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業の報告  | 6月18日 | ①公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業の説明     | ⑥保健福祉センター改修計画の説明     |
|       | ④飯南町観光協会法人化の報告           |       | ②高速バス広島松江線ダイヤ変更の報告          | ⑦飯南町子ども・子育て支援事業計画の説明 |
|       | ⑤保賀町有林伐採事業の結果報告          |       | ③社会保障・税番号制度(マイナンバー)の報告      |                      |
|       | ⑥庁舎車庫棟等の追加発注の報告          |       |                             |                      |
|       | ⑦飯南町保健福祉センターの改修報告        |       |                             |                      |
|       | ⑧頓原公民館建設に係る協議会の説明        |       |                             |                      |



# 夢はあきらめずに 女性としてできることを

農家民宿  
「野花の咲く宿わかばやし」  
若林 文子さん(頓原)

若林さんは創作山菜料理と季節の野花でおもてなしをしておられます。ほとんどのお客様さんがリピーターで、心のこもった料理と女将さんとの会話を楽しみに訪れます。



若林さん

## 民宿を始めたきっかけ

J Aを退職してから、同僚だった加瀬部末子さんと二人で女性起業家のチャレンジ塾を受講するため、松江に通ったんですよ。そこで夢をもらって、

宿をやってみたいと思うようになったの。  
たまたま「琴引荘」の運営に応募したら、私たちが運営することになったの。  
福祉施設の計画が持ち上がり、解散することになったけれど、夢をあきらめずに、加瀬部さんは「南天」をはじめられて、私は主人と二人で家を建て替えて、民宿を始めたの。

## 民宿をして良かったことは

私は、畑あり田んぼありだから遠くへ出かけることができなくていいよ。だからここへ来てお話を聞かせてもらえることが楽しいですね。  
リピーターさんが多いから、今度はどんな料理を食べてもらおうか考えるのがとても楽しいの。

## ついでにがんばる理由

料理を盛り付けるとき、季節の葉っぱの上に乗せたりするので、山へ採りに行くんです。以前は主人が採りに行ってくれたのに、今は私が採って来なければいけないので家の近くへ植えているの。  
花は買いません。季節の野の

花を採ってきて添えるようにしています。

## これから始める人に 伝えておきたいこと

年金をもらうような人が、もう少し使えるお金を上乗せ位の気持ちで、たとえば修学旅行を何軒かで受け入れるとかやってみられたらいいと思うの。  
皆さんが気楽に取り組めるように、世話をする人がおられないかしたら、頼まれたら、これくらいのことならしてあげようという人は沢山居られると思うの。手配なんかの世話をする人を作るのが大事なよ。  
大分県宇佐市安心院(あじむ)町にある民宿などはそうしてうまくやって居られるわよ。  
農家の収入が減っているから女性の働く場所、歳をとってもできる仕事があるといいですよ。



農家民宿「野花の咲く宿わかばやし」

## 今月の 表紙写真



奥真木浄水場から山沿いに登ると、瀧谷明神とある石造りの鳥居が見えます。そこからさらに半キ口登ると、ブナ林の中にある3本の大杉が囲むように佇んでいる祠があります。この大滝神社は、集落の30軒余が今でも順番で当屋を務め、毎年9月に盛大なお祭りが行われています。高さ22mの大滝が、黒い岩肌純白の水しぶきを生んで流れ落ちていきます。瀧と野鳥のハーモニーが染み入る中、気がつくとも手を合わせていました。

## 編集後記

非常に残念です！

3月の議会広報で、赤名小学校の大規模改修工事の予算計上をお知らせしていました。

交付金の全額採択は見送られようとしていたことから、当初の議会運営委員会の説明では、大規模改修予算の全額が減額される予定でした。ところが6月5日になり、約400万円の交付決定が明らかになったことから、急遽バリアフリー化工事(スロープの設置など)を行うこととなりました。

私たちは数年前から、体育館の天井部分への結露により床板が損なわれ、児童の負傷、生命の危険にもつながるとの判断から、早期に改修するよう求めていました。一番大事な改修と想っていたところが手つかずになる結果となりました。

保護者の皆さんや学校関係者、とりわけ児童の期待を大きく裏切る結果になり残念至極です。教育長ほか予算計上に携わった者の責任は重大といわなければなりません。予算計上は確実性と責任を持って行われなければなりません。

なんとしても、当初の目的が果たせるよう努力を求めています。

全国の学校大規模改修で、採択されなかった予算は600億円とも聞いており、貧弱な国の教育予算にも一因があります。十分な予算が確保されるよう議会としても努力しなくてはなりません。

議会広報編集委員会 伊藤 好晴